

「民生委員退任にあたり」

箱根ヶ崎地区担当 笠川 純

私が初めて民生委員の話をいただいた時、名称は知っていてもどのような活動なのか知りませんでした。しかし、関係者の数度の訪問で地域福祉のお手伝いをすると伺い、不安もありましたがお受けすることにしました。

民生委員の活動は町の行事への参加や施設への訪問、他の委員会や協議会への出席等多岐に渡っているのに驚きました。また、担当地区の高齢者や一人暮らしの方からの相談を町の担当課や社会福祉協議会へ橋渡しする役割を担いました。後日、相談者から笑顔で挨拶をされた事が印象深く残っています。

コロナ禍で活動が制限された時期もありましたが、4期12年を民生委員として務めさせていただき、多くの方の協力で活動が成り立っていたのだと痛感しました。

これからは、協力する立場として、何かしらのお役に立てればと思います。

民生委員の皆様のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。